

様式第二号の八(第八条の四の五関係)

(第1面)

産業廃棄物処理計画書

令和 5年 6月 20日

埼玉県知事
大野元裕 殿



提出者

住 所 埼玉県狭山市広瀬東1-13-1
氏 名 綜研化学 株式会社 狭山事業所
狭山事業所長 蓮井 崇文
電話番号 04-2954-3261

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	綜研化学 株式会社 狭山事業所
事業場の所在地	埼玉県狭山市広瀬東1-13-1
計画期間	令和 ⁵ 年4月1日～令和 ⁶ 年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	化学工業（アクリル粘着剤・微粉体の製造）
②事業の規模	513.236万円
③従業員数	223名
④産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙の通り 別紙-1

(第2面)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項			
(管理体制図) 狭山事業所長 ↓ 特別管理産業廃棄物管理責任者 ↓ 各建屋別廃棄物管理責任者			
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
① 現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	廃油	汚泥
	排 出 量	2579.999 t	32.78 t
	(これまでに実施した取組) 3118.203 洗浄方法の改善に取り組み廃油の削減を図った。 廃棄物の減量処理をする設備を設置し、削減に取り組んでいる。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃油	汚泥
	排 出 量	2450t	30.5 t
	(今後実施する予定の取組) 今期も排出量削減の為、工場から排出される産業廃棄物の削減に注力したい。産業廃棄物は、反応液中の分離液と洗浄液である。洗浄方法を再検討し、原単位での削減に取り組みたい。自社内での廃液処理設備は、廃液量の減少とガス代の高騰の為、休止中である。		
産業廃棄物の分別に関する事項			
①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 専用地下ピットを用意し、集中管理を行っている。		
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ① と同じで現状の維持		

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（ - 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	-	-
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	- t	- t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	-	-
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	- t	- t
	(今後実施する予定の取組)		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

① 現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	廃油	-
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	- t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	929.51 t	- t
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃油	-
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	100 t	- t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	100 t	- t
(今後実施する予定の取組)			
ガス代の高騰と廃液量の減少の為、処理設備を停止中。			

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
①現状	【前年度（ -年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	汚泥
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	- t	- t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	-	-
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	- t	- t
	(今後実施する予定の取組)		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
① 現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	廃油	汚泥
	全処理委託量	2188.693t 2579.883t	32.78 t
	優良認定処理業者への処理委託量	1172.14 t	32.78 t
	再生利用業者への処理委託量	1640.963 t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	- t	1.05 t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	547.73 t	31.73 t
(これまでに実施した取組) 再生利用業者を主に産業廃棄物の処理を委託した。 処理設備の稼働により、廃油の減量化を実施中。			

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃油	汚泥
	全処理委託量	2450 t	31.2 t
	優良認定処理業者への 処理委託量	1000 t	25 t
	再生利用業者への 処理委託量	1300 t	- t
	認定熱回収業者への 処理委託量	- t	0.5 t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	125 t	30.7 t
	<p>(今後実施する予定の取組)</p> <p>優良認定処理業者・再生利用業者・認定熱回収業者あるいは取得予定業者へ委託をしていく。</p>		
※事務処理欄			

(第2面)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項			
<p>(管理体制図)</p> <p>狭山事業所長 ↓ 特別管理産業廃棄物管理責任者 ↓ 各建屋別廃棄物管理責任者</p>			
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
① 現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	廃OA
	排出量	26.81 t	7.5 t
	(これまでに実施した取組) 事業所全体で作業手順の改善等など削減に取り組んでいる。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	廃OA
	排出量	25 t	6 t
	(今後実施する予定の取組) 今期も排出量削減の為、工場から排出される産業廃棄物の削減に注力したい。		
産業廃棄物の分別に関する事項			
①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 廃棄物の種類毎に、分別管理を行っている。		
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ①と同じで現状の維持		

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度（ - 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	-	-
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	- t	- t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	-	-
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	- t	- t
	(今後実施する予定の取組)		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
② 現状	【前年度（ -年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	-	-
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	- t	- t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	- t	- t
(これまでに実施した取組)			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	-	-
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	- t	- t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	- t	- t
(今後実施する予定の取組)			

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
①現状	【前年度（ -年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	-	-
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	- t	- t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	-	-
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	- t	- t
	(今後実施する予定の取組)		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
① 現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	廃OA
	全処理委託量	26.81t	7.5 t
	優良認定処理業者への処理委託量	4.46 t	3.97 t
	再生利用業者への処理委託量	22.35t	7.5 t
	認定熱回収業者への処理委託量	- t	- t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	4.46 t	- t
	(これまでに実施した取組) 廃棄物の種類毎に、分別管理を行い、減量化を推進する。		

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	廃OA
	全処理委託量	25 t	6 t
	優良認定処理業者への 処理委託量	3.5 t	3 t
	再生利用業者への 処理委託量	20.50 t	6.0 t
	認定熱回収業者への 処理委託量	- t	- t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	4.0 t	- t
	(今後実施する予定の取組) 廃棄物の種類毎に、分別管理を行い、減量化を推進する		
※事務処理欄			

(第2面)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項			
<p>(管理体制図) 狭山事業所長 ↓ 特別管理産業廃棄物管理責任者 ↓ 各建屋別廃棄物管理責任者</p>			
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
① 現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	金属くず	木くず
	排出量	12.45 t	7.98 t
	(これまでに実施した取組) 分別により削減を図った。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	金属くず	木くず
	排出量	10.5 t	6.5 t
	(今後実施する予定の取組) 分別により削減に取組みたい。		
産業廃棄物の分別に関する事項			
①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 分別管理を行っている。		
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ①と同じで現状の維持		

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（ - 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	-	-
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	- t	- t
	(これまでに実施した取組)		
			-
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	-	-
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	- t	- t
	(今後実施する予定の取組)		
			-

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

③ 現状	【前年度（ -年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	-	-
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	- t	- t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	- t	- t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	-	-
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	- t	- t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	- t	- t
	(今後実施する予定の取組)		

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
① 現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	-	-
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	-	-
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
① 現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	金属くず	木くず
	全処理委託量	12.45 t	7.98 t
	優良認定処理業者への処理委託量	- t	- t
	再生利用業者への処理委託量	12.45 t	7.98 t
	認定熱回収業者への処理委託量	- t	- t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	- t	- t
	(これまでに実施した取組) 分別管理を行い、減量化を図っている。		

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	金属くず	木くず
	全処理委託量	10.5 t	6.5 t
	優良認定処理業者への 処理委託量	- t	- t
	再生利用業者への 処理委託量	10.5 t	6.5 t
	認定熱回収業者への 処理委託量	- t	- t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	- t	- t
	(今後実施する予定の取組) 分別管理を行い、減量化を推進する。		
※事務処理欄			

(第2面)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項			
<p>(管理体制図) 狭山事業所長 ↓ 特別管理産業廃棄物管理責任者 ↓ 各建屋別廃棄物管理責任者</p>			
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
① 現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	ガラス、コンクリート、陶磁器くず	
	排出量	0.5 t	- t
	(これまでに実施した取組) 分別により、リサイクル率の向上に取り組んでいる。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	ガラス、コンクリート、陶磁器くず	-
	排出量	0.2 t	- t
	(今後実施する予定の取組) 分別により、リサイクル率の向上を更に推進する。		
産業廃棄物の分別に関する事項			
①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 分別管理を行っている。		
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ①と同じで現状の維持		

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度（ - 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	-	-
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	- t	- t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	-	-
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	- t	- t
	(今後実施する予定の取組)		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
④ 現状	【前年度（ -年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	-	-
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	- t	- t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	- t	- t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	-	-
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	- t	- t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	- t	- t
(今後実施する予定の取組)			

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
①現状	【前年度（ -年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	-	-
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	- t	- t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	-	-
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	- t	- t
	(今後実施する予定の取組)		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
① 現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	ガラス、コンクリート、陶磁器くず	-
	全処理委託量	0.5 t	- t
	優良認定処理業者への処理委託量	- t	- t
	再生利用業者への処理委託量	0.5 t	- t
	認定熱回収業者への処理委託量	- t	- t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	- t	- t
	(これまでに実施した取組) 分別により、リサイクル率の向上を図っている。		

(第5面)

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	ガラス、コンクリート、 陶磁器くず	-
	全処理委託量	0.2 t	- t
	優良認定処理業者への 処理委託量	- t	- t
	再生利用業者への 処理委託量	0.2 t	- t
	認定熱回収業者への 処理委託量	- t	- t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	- t	- t
	(今後実施する予定の取組) 分別により、リサイクル率の向上を推進する。		
※事務処理欄			

(第6面)

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。